

はぎのだい

学校だより 臨時号

平成26年10月8日(水)

津幡町立萩野台小学校 校長 橋田 宏幸



よりよい学校運営と学力向上に向けて！

～前期学校評価と学力調査の結果について～

4月から「成長・変化の実感」～No attack! No chance!～を合い言葉に、子どもたちの可能性への積極的な指導を行っています。「子どもたちを良くしたい」という学校・保護者・地域の共通な願いの実現に向けて、学力・心力・体力向上に取り組んでいます。

その取り組みを効果的にするために学校評価アンケートを行っています。学校評価は、子どもたちがより良い教育を受けることができるように教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すためのものです。学校評価を通じて「地域に開かれた学校づくり」「特色ある学校づくり」を行っています。

1学期に実施した学校評価アンケート（教職員・児童・保護者）結果を分析し、対応策を考え、8月末の学校評議員会で学校運営についてご指導ご助言を頂きました。そして、前期学校評価結果の概要と今後の取り組みをまとめました。

また、4月に実施されました4～6年生の町・県・全国の学力調査結果の分析・対応策をまとめました。未来を担う子どもたちに生きる力を身につけるための取り組みです。学校が説明責任を果たし、家庭や地域が情報を共有化し、教育への関心を高め、連携と協働が進めていければ幸いです。

今後も、子どもたちの成長を願い、学校の教育力と学力の向上に教職員一同、全力を挙げて取り組みますので、ご理解ご協力をよろしくお願いします。

★平成26年度 前期学校評価結果

（判定がAとなった項目は除きました。）

1. 学力向上		
具体的取組	達成度	9月からの方針・方策
①基本的な学習習慣の定着	84% 判定：B (H25：B)	おおむね身につけている。今後も、クラス毎に学習規律のめあてを決めて取り組む。児童の相互授業参観で上の学年の学習の様子を見たり、見られたりすることを継続することで学習習慣の意識を高めていく。
②繰り返し指導による漢字力や計算力の定着	88% 判定：B (H25：C)	全校統一テスト前の練習や満点者に「パーフェクト賞」合格者した児童に「チャレンジ賞」を準備したことで意欲的に取り組むようになった。くり返し練習させることでより定着を高めていく。
③表現する力の育成を図る	75% 判定：B (H25：B)	週1回さまざまなテーマで短作文を書くことを続けたことで書く力がついてきた。優秀作品を掲示したり、月1回優秀作品を紹介と表彰で意欲的になった。今後は、「言葉のカード」の活用をすすめていく。
④まとめとふりかえりを書くことを重視し、自分の考えの変容や学び方を知る指導をする。	89% 判定：C (H25：C)	自分の考えを述べた後、わけを話す話し方はおおむねできている。今後も話し方名人の掲示を活用しながら、話す経験を増やしていく。表現に生かす「詩の暗唱」は5・6・7月とも全員合格している。
⑤家庭学習の充実と習慣化（学年×10分の定着）	86% 判定：B (H25：B)	宿題はきちんとしてきている。保護者宿題チェックが功を奏している。「学年×10分」の学習時間を確保するため、自学を推奨する。よい自学ノートを展示して、関心も高めていく。

⑥読書量目標値の設定と到達促進の取り組み	89% 判定:B (H25:B)	読書ビンゴや読書数の掲示(読書の木やヨムモン)など取り組みをしてきた。読書数の伸びが少なかった。そこで、ランチタイムを使って本の紹介、図書館時間割の実施、現在作成中の読書リストを活用して取り組んでいく。また、学級図書についても検討していく
⑦授業におけるタイムマネジメント	56% 判定:D 今年度より	課題に対するまとめ(算数の場合は適用問題)まで到達できるよう、タイムマネジメントモデルを参考に授業実践していく。「授業づくり自己診断表」を活用し、授業研究を深め、タイムマネジメントを意識し確立していく。
⑧情報機器を活用した授業実践	44% 判定:D 今年度より	PCサポーターによる校内研修の充実により、情報機器の仕組みや効果的活用方法を学ぶことができた。情報機器を活用した簡単な授業実践事例の提示や共有できる場を設け、操作に慣れていくことから浸透させる。
2. 豊かな心と社会性の育成		
具体的取組	達成度	9月からの方針・方策
②いじめのない温かい学級活動づくり	88% 判定:B (H25:D)	学校は楽しいですか」アンケートをとった後に個人面談をしたことによって、一人ひとりの心に寄り添うことができた。人間関係づくり年間指導計画を月ごとに直したため、活用しやすくなり教職員の意識も向上した。また、その内容を実践することで温かい学級づくりの一助となった。
3. 体育・健康・安全教育の充実		全てA
4. 開かれた学校づくりの推進		全てA

※表の数値(%)は、肯定的評価(A+B評価)です。

<学校評議員からの意見>

学力向上について

- ・楽しく授業をしている。
- ・「書く」ことがめんどくさい事であり慣れも必要なもの。今の取り組みは大切なので続けて欲しい。児童が授業の内容が分っているか分かってないかをどのように判断しますか？児童の表情やノートなど気をつけて指導してほしい。
- ・秋田県は学力調査で点数の低い子は少ない。早寝、早起き、朝ご飯が良い結果に繋がっている。

豊かな心と社会性の育成について

- ・「正しい言葉遣い」の取り組みは良い。さらに「前向きな言葉遣い」について指導して欲しい。
- ・アンケートの後で先生との個人面談(児童と担任)をする事は良い。

学校評議員の皆様からは、学校の取組に対して肯定的なご意見を多く頂戴しました。

先生方はいろいろな取り組みをしていて忙しすぎないか？世界的にも日本の教員の労働時間が長い事が問題。子どもと向き合う時間が大切。そこを今後も大切にしたい。

今年度は達成度の欄に(今年度より)と記されているように、評価項目全体を見直し、新しく取り入れた項目がいくつかあります。常に自らをふりかえり、学校としてあるべき姿を見直していくための羅針盤のような学校評価の精度を高めたいと考えたからです。「子どもも教職員も力がつき、保護者や地域から信頼される学校づくり」をめざし、後期も取り組んでいきます。

★学力調査の結果より

1. 全国学力調査 6年 国語・・・県平均より低い

正答率が低かった問題

1. 故事成語の正しい使い方を選択する問題
2. 漢字を書く問題
3. 情景描写を正しく理解し、適切なものを選択する問題
4. 目的に応じて、話し合いの観点を整理する問題
5. 自分の立場を明らかにして、質問か意見を書く問題

<対策>

- 語彙力をつける。国語辞典を活用し、様々な場面でことわざや故事成語の意味を調べる。
- 図書館司書と協力し、おすすめの本をリストにして紹介する等、児童が本に興味関心を持てる

- ような取り組みを行う。
- 小見出しをつける練習をする。
 - 条件付きの作文を書かせる。「 」を用いて引用・常態で書く・使う言葉の指定)

2. 全国学力調査 6年 算数・・・ 県平均より低い

正答率が低かった問題

1. 分数の大小
2. 単位量あたりの問題
3. 割合を使って比較量を求める
4. 立体図形の見取図における辺や面の位置関係
5. 二つの数量関係を、記号を使って表す

〈対策〉

- 分数や単位量あたりの意味を確実に定着させる。
- 割合の多様な問題形式を経験するとともに、関係図を使うやり方の反復など、どのようにしたら問題が解けるのかといった「解決法」の反復練習を行う。
- 具体的な数を使って関係を見つけ、それを一般化（記号であらわすなど）していく作業をまとめとして行う。
- かけ算やわり算の応用ができていないので、基礎・基本を復習し、応用問題に取り組ませる。

3. 県学力調査 6年 理科・・・ 県平均より低い

正答率が低かった問題

1. 月の動きを予想し、記録用紙に自分で書き入れる問題
2. 太陽の方位と棒の影との関係を理解して、影の位置を答える問題
3. 異なる物質で重さをそろえたときの、体積の違いを答える問題
4. 粘土を細かく分けても重さは変わらないことを答える問題

〈対策〉

- 実験や観察にしっかり取り組んだことが高い正答率につながった問題が見られるので、今後も活動から学ぶことを大切にしていく。
- 粘土などは、変形しても細分しても重さは変わらないことを確認する。5年「ものの溶け方」で、物質の質量保存について復習する。
- 影は太陽の方位と正反対の向きにできることを、外で活動する際に確認する。また、太陽の動きを4年「月や星の動き」の導入で復習する。

4. 県学力調査 6年 社会・・・ 県平均より低い

正答率が低かった問題

1. 日本の川の特徴を資料から読み取る。
2. 資料から自動車生産台数の変化を読み取る。
3. 伝統工芸の紹介

〈対策〉

- 変化や特徴を資料から読み取る活動を多く取り入れる。特に地図帳を活用し、地図の位置の表し方や、地形的特徴、産業についてを理解する。
- 伝統工芸の指導を充実する。

5. 町学力調査 5年 国語・・・ 町平均より高い

正答率が低かった問題

1. 読みでは「競争・積む」、書き取りでは「参加・固める」の問題
2. 修飾語をたずねている問題
3. 接続詞を入れる問題
4. 作文問題 字数と内容の条件がある作文

〈対策〉

- 漢字の読み書きの繰り返し練習、間違いやすい漢字の確認をする。
- 言語事項の確認（主語、述語、修飾語、国語・漢字辞典の使い方など）を確認する。
- 問題文をきちんと読む指導をする。

6. 町学力調査 5年 算数・・・ 町平均より高い

正答率が低かった問題

1. 小数、分数の計算

2. 億と兆，概数の表し方（位取り記数法の仕組みと概数の表し方）
3. 数直線上の分数を読む問題
4. 小数のわり算の文章題 $3L \div 6$ 本
5. 折れ線グラフと表を読み取る問題

〈対策〉

- 小数，分数の基礎的な計算が確実にできるようにする。
- 位取り記数法の仕組みの理解と，億や兆の関係や数の構成の問題に取り組む。
- 分数の量を具体物や数直線でつかむ。
- 文章題の練習をする。
- グラフや表の多面的な読み方を，算数だけでなく社会の授業でも行う。

7. 町学力調査 5年 理科・・・町平均より高い

正答率が低かった問題

1. 温度計の正しい扱い方（はかり方・はかる場所）
2. 光電池への太陽の当たり方と電流の強さの変化の関係を問う問題
3. 星座早見板の名称
4. 桜の花が散った後の様子の絵を選ぶ問題（実をつける絵）
5. 桜の様子と気温の関係について記述する問題

〈対策〉

- 理科器具の名称やその扱い方を自学等でまとめる学習を行う。
- 科学的な事象に対する理由を問う機会を増やす。
- 植物や動物の正しい成長の過程を反復練習させる。

8. 県学力調査 4年 国語・・・県平均よりやや低い

正答率が低かった問題

1. 説明的文章の段落相互の関係，内容理解，目的に応じた引用・要約
2. 書く上で必要な事柄を決める
3. 相手や目的に応じて適切に書く（条件・内容）

〈対策〉

- 説明的文章の段落相互の関係，内容理解の学習をていねいに行う。
- 作文では，書く内容や書き方などの条件をつけて書く。
- コンピューターを活用し，ローマ字の大文字を使う活動を多くする。

9. 県学力調査 4年 算数・・・県平均よりやや高い

正答率が低かった問題

1. 長さの単位の関係
1. 全体・容器・正味の重さの関係の理解
3. 判断が正しい理由の説明
4. 幾つかの場合からのきまりの読み取り

〈対策〉

- 計算を正しく行うために見直しの習慣をつける。
- 単位の換算を繰り返し行う。
- 分数，小数などの基本的な意味理解や半径，二等辺三角形等の算数用語の確実な定着を図る。
- 理由を分かりやすく書く活動を取り入れる。

以上，学力調査の結果を受け，良いところはさらに伸ばすことに努め，改善を要する事項については，それぞれの〈対策〉に従って，指導改善に努めている。そのほか全体として気をつけている事や新しく取り組みを始めたことは以下の通りである。

- ・学力調査の結果を教育課程に反映させる。
- ・パワーアップタイムで基礎学力をつける。（算数・国語）
- ・学校統一のテストの日を設け，漢字や計算などの基礎的な力を，確実に定着するまでさせる。
- ・朝学習に短時間で条件のある短い文を書く活動を取り入れる。
- ・語彙を増やせるよう「言葉カード」を各自に持たせ，授業や作文などで活用する。
- ・自学を奨励し，工夫して取り組んだノートを『ほれほれ賞』とし，展示して紹介する。